

## 授業概要

フランス語の習得は、ラテン語から派生した他の言語（スペイン語、イタリア語など）をマスターする上での足がかりとなり、個人としてのさらなる発展を可能にする（特にファッション、料理、アート、ビジネスなど）。講義では、「フランス語Ⅰ（初級）」にひきつづき、豊かで楽しいフランス語の文化を学ぶ。基礎文法をマスターして「読む・書く・聴く」の能力を養い、仏語を話せるようにする。

前期につづき、初心者にも分かり易い、会話演習をベースとしたビデオ教材を使う。毎回簡単な会話を練習し、基本的な文法の説明を行なう。さらに、実践的なコミュニケーション能力を養うべく、フランス映画の映像やシャンソン、単語集を使った語彙の補完につとめる。

## 授業計画

第1回	オペラ座とデパート巡り / Leçon 8: 比較級、指示形容詞（「この、これらの」）
第2回	ツール・ド・フランス / 非人称構文（天候の言い方）、人称代名詞（「～に」）
第3回	南フランスの料理 / Leçon 9: 縮約、部分冠詞
第4回	モン・サン＝ミシェルを訪ねて / 中性代名詞 en、si と non について
第5回	ジャンヌ・ダルクとルーアンの街 / Leçon 10: 動詞 vouloir（「～が欲しい、～がしたい」）
第6回	フランス語で数える / 中性代名詞 y、疑問詞 combien（「いくつ」、「いくら」）
第7回	時間の表現 / Leçon 11: 非人称構文（時刻の言い方）
第8回	一日の出来事を語る / 代名動詞
第9回	フランス映画 / Leçon 12: 目的語人称代名詞
第10回	アルバイトについて話す / 疑問詞 pourquoi（「なぜ」）と quand（「いつ」）
第11回	旅の話をする / Leçon 13: 複合過去
第12回	過去の思い出を語る / 半過去
第13回	フランス語で指示を出す / Leçon 14: 命令形
第14回	将来の夢を語る / 単純未来と近接未来・過去
第15回	これまでのレッスンのまとめ / フランス語検定4級の解説
第16回	学期末試験（筆記試験）

## 到達目標

前期の授業を踏まえ、フランス語とそれをとりまく豊かな文化の基礎を学ぶ。「文部科学省後援実用フランス語技能検定試験4級」の資格を取得できるレベルを目指す。長いスパンで考えれば、フランス語は将来 各分野で役立つと同時に、人生を必ず豊かなものにしてくれる。楽しく学べることを目標にしたい。

## 履修上の注意

外国語は声に出して発音してこそ身につく。そのため、授業では積極的に発言していくことを期待する。なお、この講義を前期「フランス語Ⅰ」の受講者が履修することが望ましい。

## 予習復習

各課の予習・復習をきちんと行なえば必ず上達する。実践してみよう。

## 評価方法

期末試験、課題、授業に対するモチベーション等を総合的に評価する（学習を通して受講生が各々将来の目標に役立つ「何か」をつかんでくれることに主眼を置く）。

## テキスト

前期「フランス語Ⅰ（初級）」同様、ニコラ・ガイヤール 他著 “Café français”（『カフェ・フランセ』）（朝日出版社）を使用する。また、随時プリントを配布する。